

NEC Expressワークステーション
Express5800シリーズ

インテル® ラピッド・ストレージ・ ユーザーズガイド

目 次

目 次	2
商 標	3
1. はじめに	4
2. 使用上の注意	5
3. バックアップについて	6
4. インテル® ラピッド・ストレージ・テクノロジーについて	7
4.1 インテル® ラピッド・ストレージ・テクノロジー 使用上の注意	7
4.1.1 Windows 8 へのインストール	7
4.1.2 Windows 7 へのインストール	8
4.2 ディスクアレイの状態の確認	9
4.2.1 Windows 8 での確認方法	9
4.2.2 Windows 7 での確認方法	11
4.3 ボリュームデータの検証（シンクロナイズ）	13
4.3.1 Windows 8 でのボリュームデータの検証方法	14
4.3.2 Windows 7 でのボリュームデータの検証方法	15
4.4 エラーメッセージが出た場合	16
4.4.1 Windows 8 「警告：アプリケーションを開いて、詳細を参照してください。」 と表示された場合の 再設定	17
4.4.2 Windows 7 「DEGRADE VOLUME DETECTED」と表示された場合の再設定	17
4.5 ミラーリングの再設定	18
4.5.1 Windows 8	18
4.5.2 Windows 7	20

商 標

Microsoft、Windows、Internet Explorerは米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。

Windowsの正式名称は、Microsoft Windows Operating Systemです。

Intel、インテルは米国Intel Corporationの登録商標または商標です。

その他、記載の会社名および商品名は各社の商標または登録商標です。

1. はじめに

本機は、ミラーリング（RAID 1）機能によって、2 台のハードディスクに同じ内容のデータをリアルタイムで書き込みます。そのため、片方のハードディスクが故障しても、データはもう一方のハードディスクにも書き込まれるため、作業を継続して行うことができ、ハードディスク内の情報を安全に保存できます。



チェック

- 本機はミラーリング（RAID 1）のみに対応しています。
- RAID モデルでは 2 台のハードディスクでミラーリングを構成しているため、エクスペローラーなどからは 1 台のハードディスクとして認識されます。
- RAID システムはデータの安全性を高めることができますが、完全にデータを保護することはできません。重要なデータは必ずバックアップをとってください。



RAID（Redundant Array of Independent（Inexpensive）Disks）とは、ハードディスクなどの記憶装置を複数台組み合わせて同じ容量のデータを安全に保存したり、読み書きの速度を高速化するための技術です。

2. 使用上の注意

ハードディスクを使用するにあたっての基本的な注意については、下記をご覧ください。

ハードディスクは非常に精密に作られています。次の点に注意して使用してください。

- ハードディスクのデータを破損させる外的な要因には次のようなものがあります。
 - 過度な振動
 - 高熱
 - 落雷
- データの読み書き中（アクセスランプの点灯中）には、少しの衝撃が故障の原因になる場合があります。
- ハードディスクが故障すると、記録されているデータが使用できなくなる場合があります。特に、お客様が作成したデータは再セットアップしても元には戻りません。定期的にバックアップをとることをおすすめします。
- 本機のハードディスクには、「ディスクの管理」でドライブ文字が割り当てられていない領域が表示されません。この領域には、システム復旧時に必要なデータなどが格納されています。この領域にあるデータは削除しないでください。

3. バックアップについて

本機は、2つのハードディスクに常に同じデータを保持することによってデータ保護を行います。システムファイル自体に問題がある場合はバックアップした他方のハードディスクからも Windows を起動することができなくなります。そのため、重要なデータファイルについては、外部記憶媒体など、またはサーバーなどにバックアップを取ることをおすすめします。

4. インテル® ラピッド・ストレージ・テクノロジーについて

インテル® ラピッド・ストレージ・テクノロジーは RAID システム（以下、ディスクアレイ）を管理するユーティリティです。ディスクアレイのすべての操作ステータスを監視できます。



RAID モデルには、工場出荷時にインテル® ラピッド・ストレージ・テクノロジーがインストールされています。新たにインストールする必要はありません。

4.1 インテル® ラピッド・ストレージ・テクノロジー 使用上の注意

- 次の場合は、動作保証の対象外となります。
 - NEC 以外から提供されたインテル® ラピッド・ストレージ・テクノロジーをインストールした
 - インテル® ラピッド・ストレージ・テクノロジー、または BIOS によって RAID レベルを RAID 1 以外に変更した
 - インテル® ラピッド・ストレージ・テクノロジーの「タイプの変更」機能を使用して、[フレキシブルデータ保護 (回復)] や、[最適化されたディスクのパフォーマンス (RAID0)] に変更した
また、RAID レベルを変更するとデータを修復できなくなる場合があります。
- インテル® ラピッド・ストレージ・テクノロジーをアンインストールすると、ディスクアレイ状態の異常に関する警告が発せられなくなります。誤ってインテル® ラピッド・ストレージ・テクノロジーをアンインストールしてしまった場合は、次の手順でインストールしてください。

4.1.1 Windows 8 へのインストール

1. アプリ画面を開き、アプリの一覧で「ファイル名を指名して実行」をクリック
 2. 「名前」欄に次のように入力し、「OK」ボタンをクリック
C:¥DRV¥IRST¥SetupRST.exe
これ以降の操作は、画面の指示に従ってください。
 3. インストールが完了したら、本機を再起動する
- 標準ユーザーはインテル® ラピッド・ストレージ・テクノロジーを使用することはできません。
インテル® ラピッド・ストレージ・テクノロジーのすべての機能を使用するためには管理者 (Administrator) 権限を持つユーザーで行ってください。

4.1.2 Windows 7 へのインストール

1. 「スタート」ボタン→「すべてのプログラム」をクリック
2. 「アクセサリ」→「ファイル名を指定して実行」をクリック
3. 「名前」に次のように入力し、「OK」ボタンをクリック

C:¥DRV¥IRST¥SetupRST.exe

これ以降の操作は、画面の指示に従ってください。

4. インストールが完了したら、本機を再起動する

- 標準ユーザーはインテル® ラピッド・ストレージ・テクノロジーを使用することはできません。
インテル® ラピッド・ストレージ・テクノロジーのすべての機能を使用するためには管理者 (Administrator) 権限を持つユーザーで行ってください。

4.2 ディスクアレイの状態の確認

インテル® ラピッド・ストレージ・テクノロジーを利用しディスクアレイの状態を確認するときは、次の手順で行います。



- 手順の途中で「ユーザー アカウント制御」画面が表示された場合は、画面の表示を確認し操作してください。
- 異常が発生した場合、ハードディスクの接続を確認し、故障の場合はハードディスクの交換を行ってください。
- ハードディスクの交換については、ご購入元または NEC にご相談ください。

4.2.1 Windows 8 での確認方法

<インテル® ラピッド・ストレージ・テクノロジーによる確認>

1. アプリ画面 を開き、アプリの一覧で「インテル® ラピッド・ストレージ・テクノロジー」をクリック
「インテル® ラピッド・ストレージ・テクノロジー」が表示されます。
2. 「ステータス(S)」の「現在のステータス」と、「ストレージ システム ビュー」でディスクアレイの状態を確認することができます。

- **ディスクアレイが正常の場合**

「ステータス(S)」画面の「現在のステータス」の下に「システムは正常に機能しています。」と表示されます。

- **ディスクアレイに異常が発生した場合**

「ステータス(S)」の「現在のステータス」のところに「システムは1つ以上のイベントを通知しているので、データに問題がある可能性があります。」と表示されます。ハードディスクの特定は画面右側のストレージシステムビューでも故障の可能性がある表示がされ、注意を促す表示になっています。

この場合、一方のハードディスクの接続に障害が発生しているか、あるいは一方のハードディスク自体に障害が発生していることが考えられます。この状態ではミラーリング機能が有効になっていないため、もう一方の正常なハードディスクに障害が発生した際に、システムが起動できなくなったり、データが失われたりします。

<BIOS セットアップユーティリティによる確認>



SATA Mode が [RAID] 、Boot Mode が [uEFI] のときのみ表示されます。

1. 本機の電源を入れる
2. 電源を入れ、すぐに【F2】を数回押す
BIOS セットアップユーティリティが表示されます。
3. 「Advanced」メニューの「Intel® Rapid Storage Technology」を選択し、【Enter】を押す
RAID 構成の設定項目や状態が表示されます。
4. 「RAID Volumes」の末尾に「Normal」と表示されていることを確認する



チェック

- 「Normal」と表示されない場合は、ディスクアレイ情報が正しく設定されていません。
「ミラーリングの再設定」を行ってください。

5. 【Esc】を押す
6. 「Exit」メニューで【F10】または「Save Changes and Reset」を選択し、BIOS セットアップユーティリティを終了する
設定値が保存され、本機が再起動します。

4.2.2 Windows 7 での確認方法

<インテル® ラピッド・ストレージ・テクノロジーによる確認>

1. 「スタート」ボタン→「すべてのプログラム」→「Intel」→「インテル® ラピッド・ストレージ・テクノロジー」をクリック
「インテル® ラピッド・ストレージ・テクノロジー」が表示されます。
2. 「ステータス(S)」の「現在のステータス」と、「ストレージ システム ビュー」でディスクアレイの状態を確認することができます。

- **ディスクアレイが正常の場合**

「ステータス(S)」画面の「現在のステータス」の下に「システムは正常に機能しています。」と表示されます。

- **ディスクアレイに異常が発生した場合**

「ステータス(S)」の「現在のステータス」のところに「システムは1つ以上のイベントを通知しているため、データに問題がある可能性があります。」と表示されます。ハードディスクの特定は画面右側のストレージシステムビューでも故障の可能性がある表示がされ、注意を促す表示になっています。

この場合、一方のハードディスクの接続に障害が発生しているか、あるいは一方のハードディスク自体に障害が発生していることが考えられます。この状態ではミラーリング機能が有効になっていないため、もう一方の正常なハードディスクに障害が発生した際に、システムが起動できなくなったり、データが失われたりします。



- Windows 7 モデルにおいて、OS 起動後のタスクトレイのバルーン表示で、ディスクアレイの状態を確認することもできます。


【ディスクアレイが正常の場合】

Windows 起動時に、タスクトレイに「1つ以上のボリュームのデータは単一ディスクの障害から保護されています。」とバルーン表示されます。

【ディスクアレイに異常が発生した場合】

タスクトレイに「システムが1つ以上の警告を通知しているため、データに問題がある可能性があります。」とバルーン表示されます。

ただし、初期状態ではディスクアレイの状態を通知するアイコンがタスク バーの通知領域に常に表示される設定にはなっておりません。ディスクアレイに異常が発生した場合、状態を認識できない恐れがありますので、以下の手順でアイコンを常時表示する設定に変更することをおすすめします。

1. タスク バーの通知領域の  をクリックし、カスタマイズの項目をクリック
2. 「タスクバーに表示するアイコンと通知の選択」画面が表示される
3. IAStorIcon の項目で「通知のみを表示」から「アイコンと通知を表示」に変更し「OK」ボタンをクリック

<Intel® Rapid Storage Technology Option ROM による確認>



SATA Mode が [RAID] 、 Boot Mode が [Legacy] のときのみ表示されます。

1. 本機の電源を入れる
2. 「NEC」ロゴの画面の後に、「Press <CTRL-I> to enter Configuration Utility..」と表示されたら、【Ctrl】 + 【I】を数回押し正常に Intel® Rapid Storage Technology Option ROM が起動すると、「MAIN MENU」と「DISK/VOLUME INFORMATION」が表示されます。



チェック

- BIOS セットアップユーティリティの設定により、Intel® Rapid Storage Technology Option ROM が表示されない場合には、次の手順で設定を変更してください。
 1. 電源を入れ、すぐに【F2】を数回押す
 2. 「Advanced」→「RAID OpROM Message」を「Enabled」に設定する
 3. 【F10】を押す
 4. 「Yes」が選択されていることを確認して【Enter】を押す
 本機が再起動します。
- お使いのディスプレイにより、「NEC」ロゴや、「Press <CTRL-I> to enter Configuration Utility..」が表示されない場合があります。そのような場合は、本機の電源を入れたあと、10 秒～10 数秒の間に【Ctrl】 + 【I】を数回押ししてください。なお、RAID の状態に不具合がある場合は、「Press <CTRL-I> to enter Configuration Utility..」と表示されますので、メッセージが表示されている間に【Ctrl】 + 【I】を押して RAID 状態を確認してください。
- 【Ctrl】 + 【I】を数回押ししても Intel® Rapid Storage Technology Option ROM が起動しない場合は、本機が故障している可能性があります。ご購入元、または NEC にご相談ください。
- 「DEGRADE VOLUME DETECTED」が表示された場合には、「本書 4.4.2 「DEGRADE VOLUME DETECTED」と表示された場合の再設定」を行ってください。

3. 「DISK/VOLUME INFORMATION」→「RAID Volumes」→「Status」が「Normal」になっていることを確認する

[DISK/VOLUME INFORMATION]						
RAID Volumes:						
ID	Name	Level	Strip	Size	Status	Bootable
0	xxxxxxx	RAID1(Mirror)	N/A	xxx.xGB	Normal	Yes
Physical Devices:						
ID	Device Model	Serial #	Size	Type/Status(Vol ID)		
x	xxxxxxxx xxxxxxxx	xxxxxxxxxxxx	xxx.xGB	MEMBER	Disk(0)	
x	xxxxxxxx xxxxxxxx	xxxxxxxxxxxx	xxx.xGB	MEMBER	Disk(0)	



チェック

- 「Status」が「Normal」と表示されない場合は、ディスクレイ情報が正しく設定されていません。「ミラーリングの再設定」を行ってください。

4. 「6. Exit」を選択する
5. 「Are you sure you want to exit? (Y/N)」と表示されるので【Y】を押し、再起動します。

4.3 ボリュームデータの検証（シンクロナイズ）

データの検証を行うことにより、ハードディスクのデータエラーを検出し、自動的に修復します。

「検証」は次の手順で行います。



チェック

- データの検証を行う場合は、管理者（Administrator）権限を持つユーザーで行ってください。
- ボリュームを初期化しないとデータの検証は行えません。ボリュームデータ検証前に画面の指示に従い、初期化を行ってください。
- RAID ボリュームの「検証」にかかる時間は、500GB のハードディスクが 2 台構成の場合で約 2.5 時間（アイドル状態時）です。ご使用の環境によってはさらに時間がかかる場合もあります。
- データの検証の実行中は、なるべくインテル® ラピッド・ストレージ・テクノロジーを終了したり、本機の電源を切ったりしないでください。
停電などの理由により本機の電源が切れてしまった場合、OS 起動時からしばらく、PC の動作が緩慢になります。これは故障ではなく、表示はしていませんが、データの検証と同等の処理を行っています。
- 動作を確認したい場合にはインテル® ラピッド・ストレージ・テクノロジーを起動してください。動作状況が、「初期化中」、あるいは「検証と修復中」の後に XX% と表示されます。
- 「検証」の実行中でも、本機を使用できますが、パフォーマンスが低下する可能性があります。なるべく「検証」の完了を待って使用してください。
- 手順の途中で「ユーザー アカウント制御」画面が表示された場合は、画面の表示を確認し操作してください。

4.3.1 Windows 8 でのボリュームデータの検証方法

1. アプリ画面を開き、アプリの一覧で「インテル® ラピッド・ストレージ・テクノロジー」をクリック
「インテル® ラピッド・ストレージ・テクノロジー」の画面が表示されます。
2. ナビゲーションボタンから「管理(M)」を選択する
3. 左側の表示エリアが「ボリュームの管理」になっていることを確認して、「詳細設定」をクリック
他の「アレイの管理」や、「ディスクの管理」が表示されている場合には、右側の「ストレージ システムビュー」の「Volume」をクリックし、「ボリュームの管理」を表示させてください。
4. 「検証の詳細」の項目の、「検証」をクリック
「ボリューム データの検証」メッセージが表示されたら、「検証」をクリックすることにより、検証が開始されます。

状態表示として「ステータス(S)」で確認する方法と、「管理(M)」でステータスの項目の「検証と修復中 XX% 完了」を確認する方法があります。



検証中は、タスク バーの通知領域に「ボリューム(ボリューム名): 検証と修復中。」とバールーンが表示されます。



検証を中断したい場合は、「ボリュームの管理」の「ステータス」項目の、「検証と修復中 XX% 完了」の「キャンセル」をクリックしてください。
「初期化」の場合にはキャンセルが選択できません。初期化が終了するまでお待ちください。

5. データの不整合の有無にかかわらず、「データの検証と修復の結果」が表示され、タスクトレイのアイコンが正常時のアイコンに戻ります。



エラーが発生したかどうかを確認するには、「インテル® ラピッド・ストレージ・テクノロジー」の画面を表示させ、「ボリュームの管理」・「詳細設定」の「検証の詳細」を参照してください。

- 「検出された検証エラー: **」
「修復された検証エラー: **」
データが不一致となったが修復されたブロックの個数を表示しています。
- 「メディアエラーのあるブロック: **」
メディア上で不良セクタとして認識されたが修復されたブロックの個数を表示しています。

6. 「閉じる」をクリック

4.3.2 Windows 7 でのボリュームデータの検証方法

1. 「スタート」ボタン→「すべてのプログラム」→「Intel」→「インテル® ラピッド・ストレージ・テクノロジー」をクリック

「インテル® ラピッド・ストレージ・テクノロジー」の画面が表示されます。

2. ナビゲーションボタンから「管理(M)」を選択する
3. 左側の表示エリアが「ボリュームの管理」になっていることを確認して、「詳細設定」をクリック
他の「アレイの管理」や、「ディスクの管理」が表示されている場合には、右側の「ストレージ システムビュー」の「Volume」をクリックし、「ボリュームの管理」を表示させてください。

「検証の詳細」の項目の、「検証」をクリック、「ボリューム データの検証」メッセージが表示されたら、「検証」をクリックすることにより、検証が開始されます。

状態表示として「ステータス(S)」で確認する方法と、「管理(M)」でステータスの項目の「検証と修復中 XX% 完了」を確認する方法があります。



検証中は、タスク バーの通知領域に「ボリューム(ボリューム名): 検証と修復中。」とバールーンが表示されます。



- 検証を中断したい場合は、「ボリュームの管理」の「ステータス」項目の、「検証と修復中 XX% 完了」の「キャンセル」をクリックしてください。

4. データの不整合の有無にかかわらず、「データの検証と修復の結果」が表示され、タスクトレイのアイコンが正常時のアイコンに戻ります。



エラーが発生したかどうかを確認するには、「インテル® ラピッド・ストレージ・テクノロジー」の画面を表示させ、「ボリュームの管理」・「詳細設定」の「検証の詳細」を参照してください。

- 「検出された検証エラー: **」
「修復された検証エラー: **」
データが不一致となったが修復されたブロックの個数を表示しています。
- 「メディアエラーのあるブロック: **」
メディア上で不良セクタとして認識されたが修復されたブロックの個数を表示しています。

5. 「閉じる」をクリック

4.4 エラーメッセージが出た場合

ハードディスクが故障したというエラーメッセージが出た場合は、できるだけ早く新しいハードディスクと交換した後、ディスクアレイを再構築（リビルド）する必要があります。ハードディスクの交換については、ご購入元または NEC にご相談ください。その場合、事前にインテル® ラピッド・ストレージ・テクノロジーで故障したハードディスクのデバイスポート番号を確認しておいてください。

ハードディスクのデバイスポート番号はご購入時には「0」と「1」があります。そのうちの「ストレージ システム ビュー（右側の画像）」→「ハードディスク」のところをクリックする（あるいはマウスカースールを重ねる）ことで表示される「情報」に表示がないものが、故障したハードディスクのデバイスポート番号となります。

※ お使いのハードディスクの型番が表示されます



チェック

- 本機は Hot Swap（電源が入ったままハードディスクを交換）に対応していませんので、ハードディスクを交換する場合は、本体の電源をいったん切り、電源プラグをコンセントから抜く必要があります。電源を入れたままハードディスクの交換を行うと、本機が故障したり、感電の原因になりますので十分ご注意ください。
- Windows 8 モデルにおいては、以下の手順で PC 本体を終了する必要があります。
 1. チャームバーを表示し、「設定」-「PC 設定の変更」をクリックする
 2. 「PC 設定」画面で「全般」をクリックし、「PC の起動をカスタマイズする」の「今すぐ再起動する」をクリックする
 3. 「オプションの選択」画面で「PC の電源を切る」をクリックする

4.4.1 Windows 8 「警告：アプリケーションを開いて、詳細を参照してください。」と表示された場合の再設定

1. アプリ画面を開き、アプリの一覧で「インテル® ラピッド・ストレージ・テクノロジー」をクリック
現在のステータスが表示されます。
2. 「別のディスクに再構築」をクリック
「ボリュームの再構築」が表示されます。



「別のディスクに再構築」が表示されない場合は、本機を再起動してから、再度「インテル® ラピッド・ストレージ・テクノロジー」をクリックしてください。

3. 「ボリュームを再構築する先のディスクを選択してください」の下に表示されているディスク名をクリック
左端の○が●に変わります。
4. 「再構築」をクリック



● ミラーリングの再構築には、HDD の容量により最大約 150 分かかります。ご使用の環境によってはさらに時間がかかる場合もあります。

4.4.2 Windows 7 「DEGRADE VOLUME DETECTED」と表示された場合の再設定

1. 「DEGRADE VOLUME DETECTED」が表示された画面で【Enter】を押す
2. 「DISK/VOLUME INFORMATION」→「RAID Volumes」→「Status」が「Rebuild」になっていることを確認する

[DISK/VOLUME INFORMATION]						
* = Accelerated Disk/Volume						
RAID Volumes:	ID	Name	Level	Strip	Size	Status
	0	xxxxxxx	RAID1(Mirror)	N/A	xxx.xGB	Rebuild
						Bootable Yes
Physical Devices:	ID	Device Model	Serial #	Size	Type/Status	(Vol ID)
	x	xxxxxxx xxxxxxxx	xxxxxxxxxxxx	xxx.xGB	MEMBER	Disk(0)
	x	xxxxxxx xxxxxxxx	xxxxxxxxxxxx	xxx.xGB	MEMBER	Disk(0)

3. 「6. Exit」を選択する
4. 「Are you sure you want to exit? (Y/N)」と表示されるので【Y】を押す
再起動し、OS が起動した後に自動的にミラーリングの再構築が開始されます。



● ミラーリングの再構築には、HDD の容量により最大約 150 分かかります。ご使用の環境によってはさらに時間がかかる場合もあります。

5. 「インテル® ラピッド・ストレージ・テクノロジー」にて、「ステータス (S)」の「現在のステータス」あるいは、「管理 (M)」の「ボリュームの管理」で再構築の進み具合が表示されます。

4.5 ミラーリングの再設定

ミラーリングの再設定について説明します。



ミラーリングの再設定を行うと、ハードディスクのデータがすべて消去されるため、Windows の機能を使ったシステムの復旧ができなくなります。ミラーリングの再設定をする際は、必ず「再セットアップ用ディスク」をご用意ください。

4.5.1 Windows 8

1. 電源を入れ、すぐに【F2】を数回押す
BIOS セットアップユーティリティーが表示されます。
2. 「Main」メニューの「SATA Port」に HDD が表示されていることを確認する
「SATA Port0」と「SATA Port1」のそれぞれに同じ型番・容量のハードディスクが表示されていることを確認してください。
3. 「Advanced」メニューの「Intel® Rapid Storage Technology」を選択し、【Enter】を押す



- ハードディスクのデータを消去する場合は、手順 4、5、8、9 を行ってください。「RAID Volumes」が表示されず、「Non-RAID Disk」のみ表示されていれば設定完了です。
- 「RAID Volumes」の末尾の表示が「Rebuild」の場合は、【Esc】→【F10】を押して BIOS セットアップユーティリティーを終了してください。
OS の起動と共に自動的にミラーリングの再構築が開始されます。ミラーリングの再構築には、HDD の容量により最大約 150 分かかります。ご使用の環境によってはさらに時間がかかる場合もあります。
再構築の進み具合は、「インテル® ラピッド・ストレージ・テクノロジー」の「ステータス」、あるいは「ストレージ システム ビュー (右側の画像)」→「Volume」のところをクリックする (あるいはマウスを重ねる) ことで表示される。「情報」タブの「ステータス」で確認できます。「正常」と表示されたら、ミラーリングの再構築は終了です。

4. 「RAID Volumes」に RAID ボリュームの情報が表示されている場合は、【Enter】を押す



- 「RAID Volumes」が「Non defined.」の場合は手順 5 へ進んでください。
- お客様のデータなどがハードディスク上に残っている場合、必ずデータのバックアップをとってから作業を行ってください。

5. 「VOLUME Action」に「Delete」と表示されたら、【Enter】を押す
「RAID Volumes」に表示されているボリュームが削除されます。
画面の指示に従い、選択を完了してください。

6. 「Create RAID Volume」を選択し、【Enter】を押す
「Create RAID Volume」が表示されます。

7. 各項目を次のように設定する

Name : RAID ボリューム名を入力し【↓】を押す(基本的に変更しない)
RAID Level : 【Enter】を押し、【↑】【↓】で RAID1 (Mirror) に設定し【Enter】を押し
【Select Disks】に表示されている HDD の[]内に「X」が入るように【Enter】
と【↑】【↓】で設定する
Capacity : 【↓】を押す(基本的に変更しない)
Create Volume : 【Enter】を押し

8. 「RAID Volumes」に以下のように表示されていることを確認して、【Esc】を押す
<手順 7 で設定したボリューム名>、RAID 1(Mirror)、<RAID ボリュームの容量>、Normal
9. 「Exit」メニューで【F10】または「Save Changes and Reset」を選択し、BIOS セットアップユーティリ
ティを終了する
設定値が保存され、本機が再起動します。

以上でミラーリングの再設定は完了です。



ミラーリングの再設定を行った場合は、必ず「インストレーションガイド」を参照し
Windows のインストールを行ってください。

4.5.2 Windows 7

1. 本書「4.2.2 項 <Intel® Rapid Storage Technology Option ROM による確認>」を参照し Configuration Utility を起動してください。
2. 「DISK/VOLUME INFORMATION」→「Physical Devices」に 2 台分のハードディスク情報が表示されていることを確認する



チェック

- 1 台分のハードディスク情報しか表示されていない場合には、ハードディスクが故障している可能性があります。ご購入元、または NEC にご相談ください。

3. 「DISK/VOLUME INFORMATION」→「RAID Volumes」→「Status」を確認する



チェック

- ハードディスクのデータを消去する場合は、手順 3、4、5、9、10 を行ってください。「Status」が「Non-RAID Disk」になれば設定完了です。
- 「Status」が「Rebuild」の場合は手順 9、10 を行い、システムを再起動してください。OS の起動と共に自動的にミラーリングの再構築が開始されます。ミラーリングの再構築には、HDD の容量により最大約 150 分かかります。ご使用の環境によってはさらに時間がかかる場合もあります。再構築の進み具合は、「インテル® ラピッド・ストレージ・テクノロジー」の「ステータス」、あるいは「ストレージ システム ビュー（右側の画像）」→「Volume」のところをクリックする（あるいはマウスを重ねる）ことで表示される「情報」タブの「ステータス」で確認できます。「正常」と表示されたら、ミラーリングの再構築は終了です。

4. 「RAID Volumes」に RAID ボリュームの情報が表示されている場合は、「2. Delete RAID Volume」を選択する



チェック

- 「RAID Volumes」が「None defined.」の場合は手順 7 へ進んでください。
- お客様のデータなどがハードディスク上に残っている場合、必ずデータのバックアップをとってから作業を行ってください。

5. 「DELETE VOLUME MENU」が表示されたら、【Delete】を押す
6. 「DELETE VOLUME VERIFICATION」と表示されたら、【Y】を押す
7. 「1. Create RAID Volume」を選択する
「CREATE VOLUME MENU」が表示されます。

8. 各項目を次のように設定する

- Name : RAID ボリューム名 (1~16 文字の範囲で任意) を入力し【Enter】を押す
- RAID Level : 【↓】を押し RAID1 (Mirror) に設定し【Enter】を押す
- Capacity : 【Enter】を押す
- Create Volume : 【Enter】を押す



前の項目に戻るには【Shift】 + 【Tab】を押してください。

9. 「WARNING : ALL DATA ON SELECTED DISKS WILL BE LOST.」と表示されたら【Y】を押す
「MAIN MENU」に戻ります。
10. 「6. Exit」を選択する
11. 「Are you sure you want to exit? (Y/N)」と表示されるので【Y】を押す
再起動します。

以上でミラーリングの再設定は完了です。



ミラーリングの再設定を行った場合は、必ず「インストレーションガイド」を参照し
Windows のインストールを行ってください。